

「とちぎの子ども育成憲章」の実践

活動名	宇都宮更生保護女性会「紙人形しおりで立志を祝う」		
年月日	制作：年間を通して	場所	制作：会員の自宅、男女共同参画推進センター
	贈呈：1月から2月ごろ		贈呈：市内各中学校

関連する憲章の条文

- 一. 子どもたち一人ひとりを尊重し 命を大切にします
- 一. 子どもたちとのかかりを深め 思いやりの心を育みます

更生保護女性会とは？



更生保護女性会は、地域社会の犯罪・非行の未然防止のための啓発活動を行うとともに、青少年の健全な育成を助け、犯罪をした人や非行のある少年の改善更生に協力することを目的としているボランティア団体です。

宇都宮更生保護女性会でも、女性として母としての立場を柱に、地域の人たちに寄り添いながら地域に更生保護の心を伝え、更生保護の土壌を創り上げることに力を注いでいます。

紙人形しおり

その活動のひとつに、紙人形しおりを作り立志を迎える中学2年生に贈る活動があります。

14年ほど前からこの活動を始め、昨年度からは、市内中学校へ通う2年生全員に渡せるよう6,000個を作っています。

紙人形しおりづくりの工程は約30あります。材料のほとんどは包装に使った包み紙などを再利用しています。それらを切ったり折ったり糊付けしたり、また、人形の帯や着物の配色にも気を配ったりしながら作っていますのでかなり手が入っています。これを1年間かけて作っています。

市内各地区の会員さんが地区にある公立中学校の2年生のためにしおりを作ります。また、私立中学校や特別支援学校などに通う2年生のしおりは、毎月1回男女共同参画推進センターで開かれる宇更女サロンで作ります。出来上がった紙人形しおりは、メッセージを添え、立志式に合わせて届けます。学校で贈呈した後、先生方から学校や生徒さんの様子を聞くなど、子供たちを知る機会としています。



色紙を折りながらボンドで接着している。このときに配色を考えながら製作している



宇更女サロンでの製作の様子



出来上がった紙人形しおり

紙人形しおり贈呈のようす



立志という人生の重要な区切りにメッセージを送ることは大変意義あるものと考え、これからも毎年続けたいと考えています。

生徒からの感想

- ・紙人形のメッセージを心に受け止めました。ありがとうございました。
- ・皆さんのこのしおりに込めた思いを胸に成長していきます。
- ・これからの目標や今までの自分について考えました。負けない心を持つ目標を立てました。一日一日は短く、大切であることを痛感しました。
- ・大人としての自覚を持ち、責任ある行動を心がけたいと思います。